

【かなりん通信2号】

こんにちは！「かなりん」です。

今回は森や木と私たちの関わりについてのお話しです。

私たちは昔から生活の中で森や木と深く関わり、森と木の文化を育んできました。近くの里山から木を伐ってきて家を建てたり、薪に利用したり、炭を焼いたり、きのこの栽培や山菜を採ってきたりと、山や森の恵みを上手に活用した生活を営んできました。また、日本には神社やお寺、古民家など、多くの木造の建物があります。現存する一番古い木造の建物である法隆寺は、なんと約1300年も前に建造されました。

伝統工芸でも木は活躍してきました。金沢桐工芸では、その名のとおりキリを材料にして火鉢などを作っています。ほかにも二俣和紙ではコウゾという木の皮の繊維が原材料となります。

普段の生活でも少し周りを見れば、いろいろなところに木でできているものや山や森に係るものがありますよね！皆さんもそうした身近なものを通して、山や森林に親しんでもらえたらと思っています♪

